2-546-892-**03**(1)

AIT Drive

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告　電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

StorStation

AIT-2 Turbo TAPE DRIVE
AITe200/AITe200T

AIT-1 Turbo TAPE DRIVE
AITe100/AITe100T

AIT-E Turbo TAPE DRIVE
AITe50/AITe50T

⚠警告　安全のために

電気製品はまちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この冊子の注意事項をよくお読みください。
この冊子には、製品全般の注意事項が記されています。

定期的に点検する

長期間、安全にお使いいただくために、定期点検をすることをおすすめします。
点検の内容や費用については、お買い上げ店にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たら
- 異常な音、においがしたら
- 内部に水、異物が入ったら
- 製品を落としたりキャビネットを破損したときは

➡

1. 電源を切る。
2. 電源コードや接続コードを抜く。
3. お買い上げ店に連絡する。

炎が出たら

➡

- 電源プラグをコンセントから抜くか、ブレーカーを落とす。
- 大声で応援の人を呼ぶ。
- 水をどんどんかけるか、消火器を使って火を消す。
- 119番へ通報する。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電などによりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

注意

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

接触禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

アース線を接続せよ

⚠警告

火災

感電

下記の注意事項を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- 設置時に、製品と壁やラック(棚)などの間に、はさみ込んだりしない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。
- 電源コードを接続したまま、機器を移動しない。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しない。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店に交換をご依頼ください。

分解禁止

内部を開けない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となることがあります。内部の調整や設定、点検、修理はお買い上げ店にご依頼ください。

日本国内で使用する場合

交流100Vでお使いください。
異なる電圧で使うと、火災や感電の原因となることがあります。

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店にご相談ください。

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。

火災　感電

下記の注意事項を守らないと、**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**につながることがあります。

注意

電源プラグの端子、および端子の取付け面にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭く。

そのまま使用すると火災の原因となります。

注意

電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込む。

火災、故障の原因となることがあります。

アース線を接続せよ

同梱の変換プラグをご使用の際は、アース線をコンセントのアース端子に接続する。

同梱の3極→2極変換プラグを使用する場合は、変換プラグから出ている緑色のアース線を、建物のコンセントに備えられているアース端子に接続してください。
アース端子のないコンセントには電源コードを接続しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

下記の注意事項を守らないと、
けがをしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所に設置すると、感電の原因となることがあります。
取扱説明書に記されている使用条件以外の環境での使用は、感電の原因となることがあります。

禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- 壁から10cm以上離して設置する。
- 密閉された狭い場所に押し込めない。
- 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- 布などで包まない。
- あお向けや横倒し、逆さまにしない。

⚠注意　下記の注意事項を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落下したりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を十分にお確かめください。

禁止

製品の上に乗らない、重い物を乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

プラグをコンセントから抜く

機器を移動する場合、あるいはお手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。接続ケーブルなどもはずしてください。

長時間機器を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

注意

指定された電源コード、接続コードを使う

取扱説明書に記されている電源コード、接続コードを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。

接触禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

注意

接続の際は電源を切る

電源コードや接続コードを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

安全認証のための Model No.

本製品は機器本体に貼り付けられた銘板に Model No. と記載された番号で安全認証機関に登録されています。認証の照合など、必要な場合はこの Model No. をご参照ください。

本製品は、「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

目次

説明書の使いかた

この取扱説明書は、AITドライブユニットの使いかた、取り扱いかたについて説明しています。お使いになる前に必ずお読みください。
お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、保存しておいてください。

この説明書は、次の4つの章と付録で構成されています。
目的に合わせてお読みください。

□ 第1章　概要

本機の特長やシステム構成、各部の名称と働きなどについて説明しています。

□ 第2章　準備

本機とホストコンピューターや他のSCSI周辺機器との接続のしかたと本機の機能やSCSI IDの設定のしかたについて説明しています。設置の際にお読みください。

□ 第3章　使いかた

本機の電源の入れかた、カートリッジの入れかた、取り出しかたについて説明しています。実際にお使いになるときにお読みください。

□ 第4章　取り扱いについて

本機やカートリッジの取り扱い上の注意について説明しています。また、ヘッドのクリーニングについても説明していますので、お使いになる前に必ずお読みください。

□ 付録

本機の主な仕様について、説明しています。

第1章　概要

AITドライブユニットについて

AITe200/AITe100/AITe50は以下のフォーマットに対応した外付けドライブユニットです。

	対応フォーマット
AITe200	AIT-E Turbo/AIT-1/AIT-1 Turbo/AIT-2/AIT-2 Turbo
AITe100	AIT-E Turbo/AIT-1/AIT-1 Turbo
AITe50	AIT-E Turbo

特長

本機には次の特長があります。

□　本機は以下の通り大容量のデータを記録できます。

	記録できるデータ容量
AITe200	80 Gバイト （データ圧縮なし） * AIT-2 Turboカートリッジ使用時 （AIT-E Turbo、AIT-1 Turboカートリッジ使用時は AITe100と同様）
AITe100	40 Gバイト （データ圧縮なし） * AIT-1 Turboカートリッジ使用時 （AIT-E Turboカートリッジ使用時はAITe50と同様）
AITe50	20 Gバイト （データ圧縮なし）

□　SCSIインターフェース

AITe200：Ultra 160 SCSI LVD／SE準拠

AITe100／AITe50：Ultra Wide SCSI LVD／SE準拠

使用できるカートリッジ

AITe200には、AIT-E Turbo、AIT-1 Turbo、AIT-2 Turbo、AIT-1、AIT-2のロゴのついたデータカートリッジを使用してください。

AITe100には、AIT-E Turbo、AIT-1 Turbo、AIT-1のロゴのついたデータカートリッジを使用してください。

AITe50には、AIT-E Turboロゴのついたデータカートリッジを使用してください。

AIT-E Turbo
マーク

AIT-1 Turbo
マーク

AIT-2 Turbo
マーク

AIT-1マーク

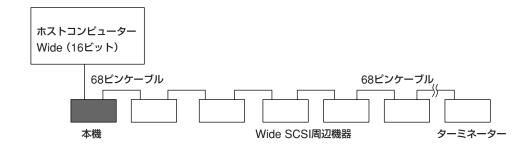
Advanced
Intelligent
Tape

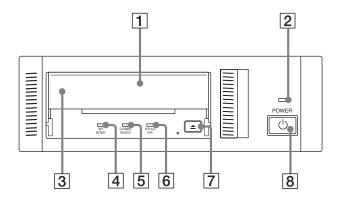
AIT-2マーク

ご注意

- 本機には、専用のAITデータカートリッジを使用してください。
- 市販の8 mmビデオテープは、外観は似ていますが、仕様がまったく違うので使用できません。8 mmビデオテープなどAITカートリッジ以外のカートリッジをセットしないでください。故障の原因になります。

システム構成

本機は、通常はインターフェースとしてUltra Wide LVD／SE SCSIを採用しているホストコンピューターに接続します。

各部の名称と働き

前面

1 データカートリッジ挿入口

AITデータカートリッジを入れます。カートリッジの入れかた、出しかたについては20、21ページをご覧ください。

2 POWERインジケーター

電源が投入（オン）されている間、点灯します。

3 防塵カバー

データカートリッジ挿入口を保護するカバーです。

4 TAPE MOTIONインジケーター

AITデータカートリッジが収納されている間、点灯します。また、以下のようなときには点滅します。

カートリッジが挿入されているとき	点灯します。
カートリッジにデータをRead/Writeしているとき	等間隔に点滅します。
カートリッジにRead/Write以外の動作をしているとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

5 CLEANING REQUESTインジケーター

クリーニングに関するステータス状態を表示します。

クリーニングが必要なとき	点灯します。
クリーニング動作が進行中のとき	長い点灯と短い消灯を繰り返します。

6 REPLACE TAPEインジケーター

挿入されているAITデータカートリッジの状態を表示します。

カートリッジが劣化してきたとき	等間隔に点滅します。
カートリッジを交換すべき時期が来たとき*	点灯します。

* テープに起因するエラーが一定レベル以上に達したとき

- さらに4、5、6のインジケーターが同時に点滅する場合は、ハードウェア的な問題が起きていることを示します。

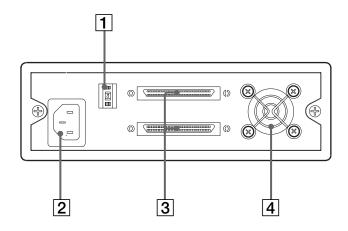
カートリッジを入れ替えたり、電源を入れなおしても同じ状態が続くようなら、本機のお買い上げ店に点検・修理をご相談ください。

7 EJECTボタン

AITデータカートリッジを本機から取り出すときに押します。

8 POWERスイッチ

電源を入れたり切ったり（オン／オフ）するときに押します。

後面

1 **ロータリースイッチ**

SCSI IDを設定します。

2 **AC IN コネクター**

付属の電源コードを接続します。

3 **Wide SCSIコネクター**

Wide SCSIケーブルを使って、ホストコンピューターのWide SCSIバスコネクター，または他のSCSI周辺機器やターミネーターに接続します。

4 **ファン**

第2章　準備

付属品を確認してから、本機をホストコンピューターやSCSI周辺機器に接続します。接続が終わったら、ロータリースイッチでSCSI IDを設定します。

付属品を確認する

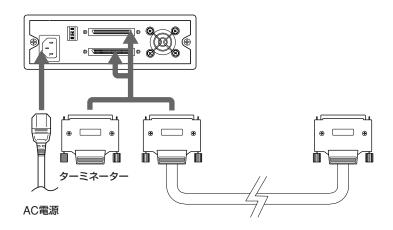
梱包を開いたら、本体および下記の付属品がそろっているか確認してください。不足しているものがあったり、何らかの損傷がある場合には、お買い上げ店にご相談ください。

□ AITドライブユニット本体
□ 電源コード
□ 取扱説明書／Device Driver（CD-ROM）
□ クイックスタートガイド
□ TapeCopy（CD-ROM）
□ ターミネーター
□ データカートリッジ
□ クリーニングカートリッジ
□ アプリケーションソフト（CD-ROM）
□ ご案内シート
□ Safety Regulations
□ 保証書

接続のしかた

Wide SCSIバスを通して、1台のホストコンピューターに15台までのWide SCSI周辺機器を接続できます。
接続には、市販のUltra Wide SCSIケーブルをお使いください。
尚、本機側は68ピンハーフピッチのコネクターを使用しています。

ご注意

- Wide SCSIケーブルを接続するときは、コンピューターおよびすべての接続機器の電源を切ってから行ってください。
- Wide SCSIケーブルのコネクター部は最後までしっかり挿入してください。
- 本機をWide SCSIバスの終端に接続する場合は、使用しない側のWide SCSIコネクターに必ず適切なターミネーターを取り付けてください。誤ったターミネーターを使用すると機器が損傷する恐れがあります。
- Ultra Wide SCSIでは、ホストコンピューターとSCSIバス上の最後の機器とをつなぐSCSIケーブルの全長が12 m未満になるようにしてください。(SCSI終端となるシングルエンドのSCSIホストアダプターに接続する場合は、1.5 m未満のSCSIケーブルを使用してください。)

SCSI IDの設定

後面のロータリースイッチの上下の（＋ －）ボタンを押すと本機のSCSI IDが表示された値に設定できます。
工場出荷時は、「０」に設定されています。設定したいSCSI IDが表示されるまで繰り返しボタンを押してください。通常7はホストアダプターのIDに設定されていますので、それ以外の値に設定します。

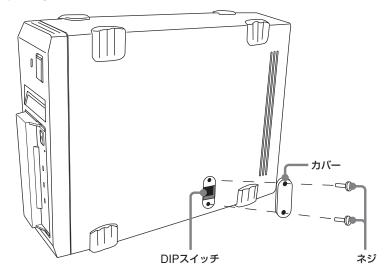
ご注意

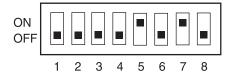
- SCSI IDは、他の周辺機器と重複しないように設定してください。
- SCSI parityはenableになっています。また、Term powerはONになっています。また、ターミネーターをかならずSCSIバスに接続してお使いください。
- SCSI IDの設定は、フロントパネルのPOWERスイッチにより電源を切った状態で行ってください。

DIPスイッチの設定

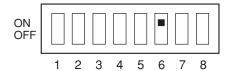
ドライバーでネジ（2個）をゆるめてカバーを取りはずし、下図を参照して、DIPスイッチの設定を変更してください。
設定を変更した後は、カバーをもとのようにに取り付けてください。

ご注意

- カバーを取りはずす前に、本機の電源を切って、本体から電源コードを抜いておいてください。
- DIPスイッチの設定変更後、カバーは、もともと使用されていた正規のネジで固定してください。

DIPスイッチの設定

工場出荷時

1 Drive Mode (OFF)
2 Drive Mode (OFF)
3 Drive Mode (OFF)
4 Drive Mode (OFF)
5 Terminator Power (ON)
6 Periodic Cleaning Req (OFF)
7 データ圧縮 (1) (ON)
8 データ圧縮 (2) (OFF)

Cleaning Request Mode

ディップスイッチでクリーニングリクエストを設定できます。

1 Drive Mode
2 Drive Mode
3 Drive Mode
4 Drive Mode
5 Terminator Power
6 Periodic Cleaning Req (ON)
7 データ圧縮（1）
8 データ圧縮（2）

6番目のディップスイッチをONにすると、クリーニングリクエストが有効になります。この場合、動作100時間ごとに、前面パネルの“CLEANING REQUEST”LEDが点灯します。
“CLEANING REQUEST”LEDが点灯しているときは、クリーニングテープでクリーニングを実施してください。

メモ

ほこり等の気になる環境で、ドライブを最適な状態に保つためには、クリーニングリクエストを有効にしてご使用になることをおすすめします。

Terminator Power Control DIPスイッチ

このDIPスイッチで、ターミネーターに電源を供給するかどうかを設定できます。
ターミネーターへの電源供給を有効にするには、DIPスイッチ5［Terminator Power］をONにします。

DIPスイッチでのデータ圧縮コントロール

DIPスイッチによるデータ圧縮の設定は、次のとおりです。

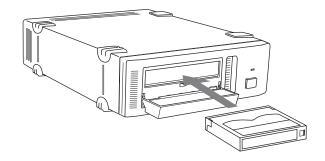
- DIPスイッチ7［データ圧縮（1）］がONのとき、初期設定としてデータ圧縮が可能になります。
- DIPスイッチ8［データ圧縮（2）］がOFFのとき、ホストコンピューターからのデータ圧縮コントロールが可能になります。

第3章　使いかた

ここでは、AITドライブユニットの立ち上げかた、カートリッジの取り扱いかたなどについて説明します。

AIT ドライブユニットを使う

1 フロントパネルのPOWERスイッチを入れます。
電源が入り、POWERインジケーターが点灯します。セルフチェックが始まり、TAPE MOTIONインジケーター、CLEANING REQUESTインジケーターおよびREPLACE TAPEインジケーターが点滅します。

2 3つのインジケーターの点滅が終わったら、防塵カバーを開き、AITデータカートリッジを下図の向きに挿入します。
TAPE MOTIONインジケーターが点灯します。

3 コンピューター上でソフトウェアを使って、テープ上のデータを読み取ったり、書き込んだりします。
読み取り、書き込み中は、TAPE MOTIONインジケーターが点滅します。

4 防塵カバーを閉めます。

カートリッジを取り出すには

1 EJECTボタンを押します。

2 防塵カバーが開き、AITカートリッジは自動的に排出されます。

ご注意

TAPE MOTIONインジケーターが点滅中はEJECTボタンを押さないでください。TAPE MOTIONインジケーターが点滅しているときにカートリッジを取り出すと、テープ上に記録されているデータが破壊される恐れがあります。

3 データカートリッジ挿入口からAITカートリッジを取り出し、防塵カバーを閉めます。

防塵カバーの取り付け

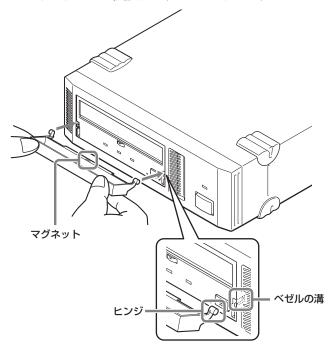
防塵カバーが外れた場合は、以下の手順で取り付けてください。

メモ

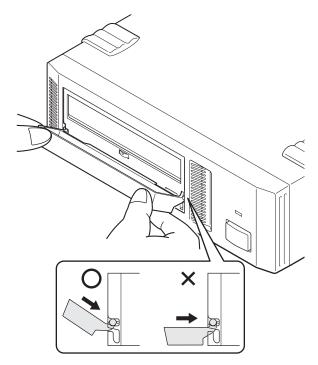
防塵カバー付きでのご使用をお勧めします。

1 図のように、防塵カバーを斜めに傾け、防塵カバーのヒンジ（左右2か所）をドライブのベゼルの溝に合わせます。

- 防塵カバー裏面のマグネット*がドライブのベゼルと向き合うように合わせてください。

*このマグネットは、テープに影響を及ぼすものではありません。

2 防塵カバーの両端を、やや斜め上から、片方ずつカチッと音がするまで押して取り付けます。

ご注意

水平に押し込まないでください。防塵カバーが壊れる恐れがあります。

3 防塵カバーを閉じる。

これで取り付け完了です。

WORM機能について

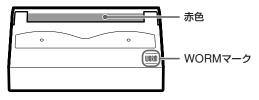
ここでは、AITドライブのWORM機能について説明します。AITe200はWORM機能に対応しています。

WORMとは

WORMとはWrite Once Read Manyの略で、テープ上の同一箇所への書き込みは一度しかできませんが、テープからの読み出しは何度でもできる機能です。
AITe200はWORMカートリッジをサポートしています。WORM機能をサポートしているアプリケーションとともにWORMカートリッジを使用すると、いったん書き込まれたデータが、誤って消去されたり上書きされて消えてしまうことがありません。
なお、通常のカートリッジ（WORM非対応カートリッジ）を使用した場合、使用方法は従来どおりですが、WORM機能を使用することはできません。
使用するカートリッジにより、WORM非対応ドライブとWORM対応ドライブの動作は以下のように異なります。

AIT ドライブユニット	カートリッジ	
	通常のカートリッジ（WORMマークなし）	WORMカートリッジ（WORMマークなし）
WORM非対応ドライブ	書き込み/読み出し可能	イジェクト待ち
WORM対応ドライブ	書き込み/読み出し可能	読み出し可能、 書き込みは追記のみ可能

WORMカートリッジ

WORMカートリッジには、WORMマークがあり、赤色シャッターが付いていますので、通常のカートリッジと区別することができます。

AIT-2 WORMカートリッジ：SDX2-50W

WORMカートリッジを使った場合のデータ書き込み方法

データの読み出しについては、通常のカートリッジと同様に制限はありません。データの書き込みについては、すでに書き込まれている部分には書き込むことができません。

データを書き込む場合は、すでに書き込まれているデータの後に追記してください。したがって、必ずEODエリアに移動してから書き込みを行う必要があります。

SCSIコマンド

サポートしているSCSIコマンドは、WORM非対応ドライブと同じです。ただし、すでに書き込まれている部分に書き込もうとすると、「Sense Ke = 07, ASC = 27h, ASCQ = 00 : Persistent Write Protect」または「Sense Key = 03, ASC = 27h, ASCQ = 04 : Write Position Error」というエラー情報を返します。

ご注意

- 本機を使用して、なんらかの不具合により書き込んだデータが消去された場合のデータ内容の補償については、ご容赦ください。
- 本機の使用によって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。

第4章　取り扱いについて

本機の取り扱い

安全にお使いいただくために

■ 電源

□ AC 100 Vでお使いください。
□ 複写機やシュレッダーのような消費電力の大きい機器と同じコンセントから、電源をとらないでください。

■ 電源コードの取り扱い

□ コードの上に重いものをのせたり落としたりして、傷をつけないようにご注意ください。傷がついたまま使うと危険です。
□ 電源コードをコンセントから抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。コードを引っ張ると、コードが傷むことがあります。
□ 長時間お使いにならないときは、電源コードをコンセントから抜いておいてください。

万一の故障を防ぐために

■ 衝撃・振動を与えないでください

落としたりして強い衝撃を与えると、故障することがあります。

■ 設置場所

次のような場所で、使用したり保管しないでください。

□ 湿気の多いところ
□ 温度の高いところ
□ 直射日光の当たるところ
□ ほこりの多いところ
□ 激しい振動のあるところ
□ 温度変化の激しいところ

■ 通風

前面の空気穴をふさがないようにしてください。空気穴をふさぐと本体内部の温度が上昇し、正常に動作しなくなることがあります。

■ 急激な温度変化は避けてください

寒いところから暖かいところに移したり、室温を急激に上げたときは、内部に結露が起こる場合があります。急激な温度変化があった直後は使わずに、1時間以上待ってからお使いください。
結露が発生したままカートリッジを使い続けると、ドライブやテープに支障をきたすことがあります。結露が起きている可能性があるときは、すぐにカートリッジを取り出してください。
なお、カートリッジを入れずに、本機の電源を入れたままにしておくと、結露が早く解消します。

■ 異常が起きたら

万一、異常や不具合が生じた場合は、電源コードをコンセントから抜き、お買い上げ店にご相談ください。

その他ご注意いただきたいこと

■ 雑音電波について

本機は高周波の信号を扱うため、ラジオやテレビ、オーディオチューナーなどに雑音が入ることがあります。この場合は、距離を少し離してご使用ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

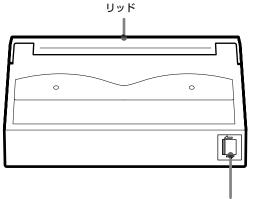
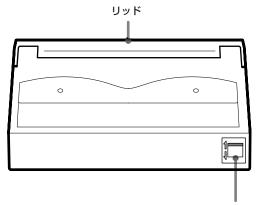
■ キャビネットが汚れたら

キャビネットの汚れは、乾いた柔らかい布で拭きとってください。汚れがひどいときは、うすい中性洗剤溶液を少し含ませた布でふきとり、乾いた布でからぶきしてください。
アルコール・シンナー・殺虫剤など、揮発性の溶剤は、使用しないでください。表面の仕上げをいためたり、表示が消えたりすることがあります。

カートリッジの取り扱い

取り扱い上のご注意

- □ カートリッジに激しい振動を与えたり、落としたりしないでください。
- □ カートリッジは、本機に挿入されると自動的にリッドが開く自動装填式です。カートリッジのリッドを手で開けて、中のテープに触れないでください。
- □ カートリッジは工場出荷時に精密に調整されていますので、分解しないでください。
- □ カートリッジのツメは、不用なデータを誤って書き込まないためのものです。書き込みの必要がないカートリッジは、書き込みができない状態にしておいてください。

AIT-1

AIT-E Turbo、AIT-1 Turbo、
AIT-2 Turbo、AIT-2

- □ 温度差の激しい所や湿気の多い所では、結露により書き込み、読み取りができなくなることがあります。
- □ 書き込み、読み取りの必要がないときは、不必要に本体にカートリッジを出し入れしないでください。
- □ ご使用後は必ず本体からカートリッジを取り出しておいてください。

保管上のご注意

- □ カートリッジはケースに入れて保管してください。
- □ ほこりやちりの多い所、直射日光の当たる所、暖房機の近く、湿気の多い所には保管しないでください。
- □ 自動車のダッシュボードやトレーには絶対に置かないでください。

ヘッドクリーニングについて

AITドライブユニットを最適な状態に保つために、必要に応じて別売りのAITロゴのついたクリーニングカートリッジを使い、クリーニングすることをおすすめします。クリーニングが必要になると、CLEANING REQUESTインジケーターが点滅します。（11ページ）

クリーニングのしかた

1 本機のデータカートリッジ挿入口に、クリーニングカートリッジを挿入します。
自動的にヘッドクリーニングが始まります。

2 約15秒後にヘッドクリーニングが終了し、クリーニングカートリッジが自動的に出てきます。

ご注意

クリーニングカートリッジのテープを巻き戻して再利用しないでください。クリーニングカートリッジを使い切った場合は、処分して新しくAITロゴのついたデータカートリッジをお買い求めください。

付録

主な仕様

性能

AITe200

AIT-2 Turboモード

記憶容量　80 Gバイト（非圧縮、186 m AIT-2 Turboカートリッジ使用時）
208 Gバイト（圧縮、186 m AIT-2 Turboカートリッジ使用時）*1

データ転送速度（TAPE）*2
12 Mバイト／秒（非圧縮時）

バーストデータ転送速度（SCSI）
160 Mバイト／秒（最大）

ビットエラーレート
10^{-17} 以下

AIT-1 Turboモード

記憶容量　40 Gバイト（非圧縮、186 m AIT-1 Turboカートリッジ使用時）
104 Gバイト（圧縮、186 m AIT-1 Turboカートリッジ使用時）*1

データ転送速度（TAPE）*2
12 Mバイト／秒（非圧縮時）

バーストデータ転送速度（SCSI）
160 Mバイト／秒（最大）

ビットエラーレート
10^{-17} 以下

AIT-E Turboモード

記憶容量　20 Gバイト（非圧縮、98 m AIT-E Turboカートリッジ使用時）
52 Gバイト（圧縮、98 m AIT-E Turboカートリッジ使用時）*1

データ転送速度（TAPE）
12 Mバイト／秒（非圧縮時）

バーストデータ転送速度（SCSI）
160 Mバイト／秒（最大）

ビットエラーレート
10^{-17} 以下

*1 2.6：1ハードウェア圧縮時での数値です。
記録データの圧縮比は、システム環境とデータの種類によって異なります。
*2 AIT-1データカートリッジ使用時のデータ転送速度は、8 Mバイト／秒（非圧縮時）となります。

AITe100

AIT-1 Turboモード

記憶容量　　40 Gバイト（非圧縮、186 m AIT-1 Turbo カートリッジ使用時）

104 Gバイト（圧縮、186 m AIT-1 Turbo カートリッジ使用時）*1

データ転送速度（TAPE）*3

6 Mバイト／秒（非圧縮時）

バーストデータ転送速度（SCSI）

40 Mバイト／秒（最大）

ビットエラーレート

10^{-17} 以下

AIT-E Turboモード

記憶容量　　20 Gバイト（非圧縮、98 m AIT-E Turbo カートリッジ使用時）

52 Gバイト（圧縮、98 m AIT-E Turbo カートリッジ使用時）*1

データ転送速度（TAPE）

6 Mバイト／秒（非圧縮時）

バーストデータ転送速度（SCSI）

40 Mバイト／秒（最大）

ビットエラーレート

10^{-17} 以下

*1 2.6：1ハードウェア圧縮時での数値です。
記録データの圧縮比は、システム環境とデータの種類によって異なります。

*3 AIT-1 データカートリッジ使用時のデータ転送速度は、4 Mバイト／秒（非圧縮時）となります。

AITe50

記憶容量	20 Gバイト（非圧縮、98 m AIT-E Turboカートリッジ使用時）
	52 Gバイト（圧縮、98 m AIT-E Turboカートリッジ使用時）*1

データ転送速度（TAPE）
6 Mバイト／秒（非圧縮時）

バーストデータ転送速度（SCSI）
40 Mバイト／秒（最大）

ビットエラーレート
10^{-17} 以下

*1 2.6：1ハードウェア圧縮時での数値です。
記録データの圧縮比は、システム環境とデータの種類によって異なります。

環境条件

使用時

温度：	10 ℃～35 ℃（ΔT<10°C/h）
湿度：	30 %～80 %（結露のないこと）（最大湿球温度：26℃）

非動作時

温度：	－40 ℃～70 ℃（ΔT<20°C/h）
湿度：	10 %～90 %（ΔRH<30%/h）（最大湿球温度：45 ℃）

電源・その他

電源定格	AC 100 V －240 V 50／60 Hz 最大 1.2 A
最大外形寸法	198 mm×64.5 mm×246 mm（幅／高さ／奥行き）（突起部を含まず）
質量	2.4 kg
付属品	電源コード（1）
	取扱説明書（1）

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

お問い合わせ先

本機に対する修理依頼・お問い合わせは、お買上げの販売店にお願いします。

デバイスドライバーについて

最新のデバイスドライバーについては、ソニーのホームページでご案内しています。下記のURLを参照してください。

http://www.sony.co.jp/Products/storagesolution/documents/index_sony.html